

對敵布陣を完了 我猛進は敵恐怖の的

鹿角、九馬喙を占領

海の勇士ら威奮

海軍在郷軍人の簡閱點呼に

低

險

提

供

亦軍愈よ危機 総職が極めて眼野たつ。 は周賦の常能とは飛分。 つてあるといつてある 古屋別の自動を記録付けた。 総の中域能に取付かた。 を積載と得る、その特 左の諸賦が書げられる の低報なととで十五級 の低報なととで十五級

安い新種保険を提供します。

低物價政策に順應し、保険料の著しく

宝としてミシシッピ

保険をお研究下さら。

金の實例です。

ヒ總統の確約に同意説

/來出刊新最

□保險案內贈呈

保險種類は此外數種あります

二二十二〇 三十年 部別 明

けたい人に最も適當です。

生命保險に加入なさる方は先づ當社の 新種は、安い保険料で多額の保険をつ 左記は新種千圓に對する一年拂保險料 社會互相險保命生一第

五九、▲釈迦八四、1○▲一四五、八○▲聚新一〇八、 看是

麥棉栗の輪作

配の促進を置り以つて



てり真臓的方法を満じつくあり肌大臓左の方針によって進むことに 各郡とし、これら間に国

専任職員を増置

等の多語に渡って東域徹底を増す一るととなってある

城の主となって、第一線に

大空の護と語る座談会

國家總力戰と女は

世論公央中韓五ルビカ川副京東

(出席者) 西原勝

世界情勢と

ついて、蠟山政道

通りは身につけたはず

品種改良に重點

增殖 严爱家

獎勵品種へ更新期す

愛國班が實行主體

墨歌を横き、本年度よったのである。

既定方針を一擲 本府計畫に

順應一

置収益の増加にあり、作付面積の

三千町歩計士二萬七千七百町

收且

臨戦の街頭に秋深き窓邊に

丁月號

くをるお

五定 十 銭價

本年は東紀外五四〇町歩

強血種の約六〇%を占め 概なる關係上製作面 有利な事は今題いる

糸統を奏附し本秋より感よ

場三須技師談水原農事試驗

整作後の増配には肥料問題が重大



期待さる新品種

全鮮を五區に別け適地性探求

殿の完遂には絶大の責任を有

た好め来たが連邦の依頼をあげ得なかった、然し時間は明確におけ

普及の機能あるものはこれ

『町帆紋の史命は母郎上谷々 | 隆事試験国の設順が完備してゐな | の育成を聞いればなられて悩む

麥の指定試験質施

で野ら新品種の意味を行び完成し、一般の薬場らしい資油にかったため水原の本所圏事故郷島・ち至ったので内地にお

は大陸要は簡単を耐がたければな







記録等 小野職千後の庭・高末 連作

…明の常識──カ ・節の食品── ・ 単

學問容 する村

無額 村 M 澤野 と豫報告 の共

萬葉の

行

社 验

B

秋の衣食

住

機空にはた

くまず

·ル座談會)

7578 9578

の 精食の下時職る比事心關景でつとに人類 事記認必人帰庭家……〈韓を相虞の週間

おいくと思う 足どめ

肌の若さ

大阪・東京

|| 労報國の榮譽を

を駆げませう。 いかぬせ、関長者参問はずいかぬせ、関氏者参問はず ボオリー化は、弱った

答 京城は美町一子御塾不下さい、間間 数件模様を料の版 石油輸入二九度以上(生産者)を数〈ソ下さい(八東生)を数〈ソ下さい(八東生) 動物ではあるが、調査 蜂蜜について 医院から受ける線の太い感じ 心のところのある彼の性格は

本の第一線で活躍するといふ

每年二百町擴

大陸進出の

井隆一

(中) 区域推映模型

七千町歩に擴張

一年一作を一歩進め

(京畿) 地主の協力を要望

合せて計畫完了後には一千八百五十萬石行に移し基本收穫高一千二百九十萬石とを闖る所謂裏作麥增產計畫を樹立愈よ實

は果してごうであるかを調べて見たて各道の對策、地主農場方面の協力態勢するので、わが社では通信網を總動員しするので、わが社では通信網を總動員しび農場方面の積極的な協力を絕對必要とび農場方面の積極的な協力を絕對必要と

難的成業によって小野寺

答-京城府京町一九 株式

書籍仕入れ先

ミシン販賣店

答 新北著及総誌線は総合員 答 新北著及総誌線は総合員

- 三萬石を目標

こは本年から向ふ五ケ年に於て廿五萬町一筒された重大使命に鑑み、本府農林局(倉朝鮮に於ける裏作麥の增産は、半島

重大問題であり殊に裏作機闡には地主及費の各道に於ける具體的實行方法如何は費の生産を得る方針で進んでゐるが之が計

の増充に協力しつゝあり
・製作 實踐徹底

産業

問

を見る

適地を選定

を影響した。

てその支配下に置いたものでれ支属田の有力なる定場とし

日本人で

答
家員店開店は自由ですか

して成り立つや否やは解かり

庭園の高級2日本女能の覚悟の間 マンスン 武雄味富男

「任満女性」にある問題

機就婦人 生

夕面委員と記く え冷れ



放園まで熱心に観測したが、一點

響に興取つて影脈域を振り、十二地感差室、ラジオ・ゾンデの各部

歌は年即中間・日を襲り、日田豊方 歌歌は年即中間・日を襲り、日田豊方 歌歌が出來た 時間では解素りのため驟勝が出來た 時間 かどうかだまれてゐるが、七川で 歌

・ 美しく凌空と化した、大空に燃え ・ 美しく凌空と化した、大空に燃え 食の日寸一日泊水戦線は帰に明け しかし年即十一時四千九分五十一 に加水河畔にて 廿一日 同盟 日 | 蘇戦を戦みつけてゐるのであった

石垣島に世紀の凱歌

黑い太陽。を科學する──

變り種、都計、を生んだ坊さん

瞬!恐しきまでの緊張だ

妖しきコロナ

來るぞと觀測域に先づ微聲が揚つ

クて一同は激しいまでの緊張に 次に來るべき瞬間の重大さを思

に見込まれて京 の改山に闖つたが、西田大香の一 火山炭がかりだから農がいけない。 いで何時の間にか悲愛から喚き去い意。 無物を改善、 照和四年ひと尾巻殿。 手が木砂用だから上がいけない。 いで何時の間にか悲愛から喚き去います。

漢口でも成功

くて 酸菌がら、光明へ巻りは次 ぐには出來なくと、 原に元に復して来た、復興を繁定 原に元に復して来た、復興を繁定 をあっちに康熙

金鰡のうちに悪態隊に世紀の歌歌

戦陣で悠々観測

汨水戦線のわが勇士

かくて職態から、光明へ器方

「漢ロ廿一日同盟」 漢口郊外の江 第一大俊島博士以下全真大いに るものと思へば一際意義深く戦の

を関する統分かと今から楽しみで を自己は間の勤労がどんな大き な質を統分かと今から楽しみで

さん型の初仕事ン。

置便に口づさみ下の姿態ひ

やつはり足だ木

|| 日曜競馬を奇襲

皆勞の初仕事

新町の姐さん達起つ

一選は國民管が運動に起上りました。 午前十時には数者郷上の駅間に第京城新町東郊電百八十名の娘さん。 動砂日の廿一日から早滅日事命め | 1 | 1日に下まく日職を得き立つて | する機心にみ職く職業な日齢的を | 1 | 1日に下まく日職を得き立つて | する機心にみ職と職業の名は成外事態を無口。 | 1 | 1日に下まく日職を得き立つて | 1 | 1日に下まく日職を得き立つて | 1 | 1日に下まく日職を得き立つて | 11日に下まく日職を得き立つて | 11日に下まく日職を得き立つて | 11日に下まく日職を得きませた。

家畜の殱滅を企圖

滿洲に細菌謀略判明

略によることが判明した、敵性質

細胞部成者は一般に對し次ぎの低

・ 現職過等者の必携薬!

書き味満臭 ライル関を筆

金剛山電氣鐵道經會社和十六年九月二十一日 氣鐵道經會社 ¥2.00×±

ージン

ンの

大日本國民中學會 開始了與 開始 「大日本國民中學會 「大日本國民中學會 信用一等

げる。金丸機は鮑辺喰ひ下つて雕 る敵機を目がけて追ひ追った、敵一機秘書の力強い確康りと魔気を示 地上整備員の苦心

敞薫園の中で自決

は夕服野る場から歌を慰明りを輸出を開った歌歌の名前のため、整備員

敵機を追墜す荒鷲魂

また。と考へて來るとまだ(・22 大間 同立千、同立千、同二千 要注動語の死意際化のために一談 大間 同六十六百、同七千、同 と紹力をおばならぬことを解説す 1千

航空機の進步發達

としてなくてはならの職就子は作 | 『百様氏館で職事曹を明くことになり廿出ま子――皇帯人館の家庭が郡田 | 世紀職家を部民子ることになり廿出ま子――皇帯人館の東京教子の上になり廿出まるとのよう。 現とした 罕い心配御無用

者を摘發

でのできたが最近に至り家婦が開いてきたが最近に至り家婦が開いて京都の歌を行って開業である子には明確である。 はこの春一春風歌を行って開業で、 原始地方、時代、明竜り に川地方、 明九後一時巻り

西梅

唐辛子が澤山出ます

正 則 獨學時代來4:

女學講義錄

佐 內 科 室瓣院長醫學博士佐藤小五 藤 般 特品 加州の シーン 科明 明明 の 単、の 単、の 単、の 単、の 単、の 単、の 単

云とたも落が質品の類ドマーポるごかち 夜日は郎光研のンランラに中るみてれば すまり暑てね重を完研しけかに名のンランラ

1.80 店至 3.50 有票 のロッパ 肉盛等 修理再生

磨 耗 箇 所 シリンダメープ タリング タイトカ 一確保八座品ノカ

朝鮮メタリコン工業所 雨をジラ

革 靴

単純がまた安くなりました一部督

國策金

推療局 ロボ洗冷ン 震動展 ロンス株庫器 関熱 根ンス株庫器 山田 電 本林 京城市に往土里町(ババ) 評価話が高の6754

堂

本 雷

Ţ 犀 四 階 盘 廊

九月二十五日より二十八日まで一般公開九月 廿二 日、四日の 兩日 御内 見日 賁 FD 象 畵 伯 新 作 畵 展

- 0